



白熱した「議論」で 新年度予算をチェック！

「ギイ」の視点」で新年度予算をピックアップしてみました☆

令和5年予算特別委員会は、3月3日に議長を除く16名で設置され、委員長に須藤日米代委員、副委員長に柴崎訓佳委員を選出し、審査を行いました。

予算の立案過程は透明なものか、それに基づく事業は市民の思いに添っているのかなど、さまざまな視点で質疑をし、白熱した議論が交わされました。一般会計予算は217億100万円を可決しました。



須藤日米代 予算特別委員長

●パーク化推進事業

【競艇事業局総務課】

問 普通旅費、調査業務委託料の詳細は。

答 普通旅費については、パーク化を行っている施設の設置状況や設置費用、運営方法などを確認し、費用対効果なども検証して設置に向けて進めていくために、先進地視察を行うための費用として計上している。具体的には、スケートパークを設置している鳴門競走場、競走場の近隣にキッズパークを設置している尼崎競走場の2カ所の視察を予定している。調査業務委託料については、パーク化に向けた調査研究費で100万円、それに伴う事務的経費で100万円、合計200万円を計上している。



●空き家対策事業

【建設課】

問 空き家などの改修補助金について、産業観光部の店舗等利活用促進事業補助金などの重複も考えられるため、部署同士の連携した協議がなされているのか確認したい。部署同士が連携し、補助金制度をうまく組み合わせて成果につながるような検討を。

答 本事業については、居住部分に対して補助金を交付している。実際に大間々町において、店舗と居住部分を併用した空き家があり、それぞれの部署の補助金を交付して建物の改修を行ったという経緯もある。目的の異なる補助金制度については、逐次情報共有を図りながら事業を進めている。



●諸証明コンビニ交付事業

【市民課】

問 この事業の発足当初、コンビニ交付により市民サービスの向上と職員人件費の削減ができるとされていたが、令和5年度予算で、職員人件費についてはどのように反映されているか。

答 コンビニ交付を導入する際、コンビニ交付が2万通を超えるとコストがプラスになり、3万通を超えると約800万円の利益になり正規職員が1名程度削減できるとされていたが、想定していた数字にはまだ至っておらず、令和5年度予算においてコンビニ交付による職員人件費の削減はされていない。



●ヤングケアラー支援事業 【こども課】

問 事業内容と、令和5年度の利用人数の見込みは。

答 事業内容は、ヤングケアラーを把握した場合、既存の福祉サービスで対応できない場合には、家事支援や育児支援のヘルパー派遣を行うもの。支援時間は1時間または2時間で、ヘルパー1人を週2回派遣する。令和5年度の利用人数は、みどり市教育委員会でヤングケアラーが潜在的にどのくらいいるのか聞き取り調査をした結果を基に、1時間利用者が2人、2時間利用者が2人の計4人を見込んでいる。



●学校適正規模・適正配置検討事業

【学校教育課】

問 学校適正規模・適正配置検討事業の対象とスケジュールは。また、公共施設管理計画やまちづくりへ生かした事業の考えは。

答 事業の対象は小中学校を対象とし、令和5年度から令和6年度にかけて学校適正規模検討委員会を開催していく。そして、令和6年度末までに教育委員会として方針を策定し、各地区へも説明していきたい。また、学校の建て替え等も関係するため、公共施設管理計画と併せて検討していきたい。



●特産品創出事業 【商工課】

問 事業の目的や内容は。

答 市を象徴する新たな特産品を創出し、ふるさと納税の返礼品などで活用することで、寄附額の増加につなげることを目的に実施する。新たな特産品の開発や販路の拡大などについて、専門家によるスクール形式での講座を約40日間開催し、主にプロデュースを中心に行っていく。素材の選び方、味のつけ方、販売方法、PR方法について、専門家から直接説明を受けながらノウハウ学び、短期間で集中的に磨き上げていく。令和5年度については、食品と工芸品をテーマに事業を実施をしていく予定。

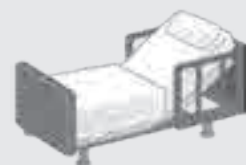


●若年がん患者在宅医療支援事業

【健康管理課】

問 若年がん患者在宅医療支援事業助成金の支援内容と令和5年度の見込件数は。また、対象者を末期のがん患者と限定した理由は。

答 支援内容は、訪問入浴の介護等が月額5万円、福祉用具の貸与が月額3万円、福祉用具の購入が1人につき5万円、介護専門員による事業所の紹介等が月額1万円。令和5年度の見込件数は、対象者1名で6カ月間の支援を想定し予算を計上した。対象者を末期のがん患者と限定した理由は、群馬県との共同事業のため、群馬県の対象要件と同様に対象者を設定したためである。



●ホームページ管理システム導入事業 【秘書課】

問 ホームページ管理システムの全面リニューアルの内容と現在のホームページへのアクセス数は。

答 ホームページのトップページの現在のデザインは、すでに10年が経過しているため、全面的にリニューアルし、スマートフォンやタブレットへ適合するように改修し、情報分類の見直しなども行い、誰もが使いやすいホームページを目指していく。また、令和4年度現在のトップページのアクセス数は、約69万アクセスあり、リニューアル後はそれを上回るアクセス数を目指したい。

